



設置した受信ユニットS740

ニチレイロジグループ様に緊急地震速報システムを納入

このたび当社の緊急地震速報システムQCASTが、(株)ニチレイロジグループ様に採用されました。同社は広く低温物流事業を展開しており、全国各地に冷凍倉庫を保有し、国内外の「食」の物流を支えています。

本システムは、倉庫内の作業者に対し地震の発生をいち早く知らせることにより早期避難を促し、従業員の安全を確保することを目的としています。2台のS704受信装置を親機として、全国の倉庫のうち44事業所にS740受信ユニットの設置が完了し、さらに60事業所への導入を進めています。

近年国内で頻発する地震に備え、従業員の安全確保を目的とした緊急地震速報の導入は今後ますます進んでいくものと考えられます。明星電気は防災製品の提供を通じて、民間企業のBCP対策にも貢献していきます。

(担当: 防災事業部)



ぶどう畑に設置したPOTEKA



ココ・ファーム・ワイナリー様へPOTEKA設置

栃木県足利市の山麓で日本を代表するワインを製造している(有)ココ・ファーム・ワイナリー様にPOTEKAが設置され、良質なぶどうの栽培に貢献しています。

ココ・ファーム・ワイナリー様では、ぶどう畑が開墾された1958年当初より除草剤や化学肥料を使わない栽培を続けており、醸造工程では野生酵母や野生乳酸菌を使ったワイン発酵を行っています。このワインは九州・沖縄サミットや洞爺湖サミットでも提供され、また国際線のビジネスクラスやファーストクラスなどに採用されています。近年、局所的な異常気象が多発する環境下において、自社畑の正確な気象データを常時測定することで、薬剤散布などの栽培作業のタイミングを適切に判断し、品質の高いぶどう栽培を実現します。

明星電気のPOTEKAは、リアルタイムの気象データ観測で日本の食にも貢献します。

http://cocowine.com/vineyard_winery/vineyard-thismonth/

(担当: 気象・管制事業部)



「日経エコロジー」4月号

日経エコロジーにiMS-100関連記事が掲載

3月8日発売の「日経エコロジー」4月号特集記事に、『適応市場を開拓せよ』と題して当社のラジオゾンデiMS-100が掲載されました。同記事では「適応とは気候変動の影響から国土や住民の生活を守ること」「途上国の適応ビジネスにはあらゆる業種に商機がある」としています。

地球規模の気象予測のためには世界各国850箇所の同時観測が必要とされていますが、途上国の予算不足により約200箇所は休止状態にあります。この対策として、低コスト・省エネ型のiMS-100を開発し欧州メーカー主導の市場に参入する当社の取り組みが紹介されました。iMS-100は日本国内でも2017年中に気象庁での利用が始まり、さらに生分解素材を採用した環境負荷軽減タイプの導入が進んでいく予定です。

明星電気は気象観測コストの低減化と、高い付加価値を備えた製品の提供により、グローバル事業の展開を進めていきます。

(担当: 気象・管制事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。